

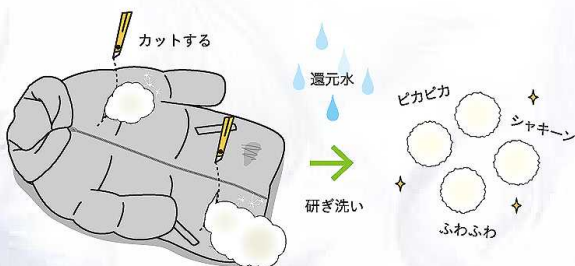


製品を通して、ダウンがリサイクル可能な循環資源であること、「グリーンダウン」の品質の良さ、リサイクルのしくみなどを伝えるために、「グリーンダウン」製品には冊子型の下げ札を付けて販売します。

「グリーンダウン」製品に付ける冊子型の商品下げ札の内容 (10cm 四方、全 14 頁より一部抜粋)

Green Down とは

羽毛の洗浄はお米を研ぐことに似ています。
愛用して頂いたダウン製品は、普段着用している間に、羽毛同士がふっつきあひ、汚れが羽毛からとんとんはがれて、小さなホコリになります。
その小さなホコリを、独自の研ぎ洗いの技術で取り除き、超軟水の強力な還元水を使うことで、痛みの修復処理をほどこした新たなダウンです。

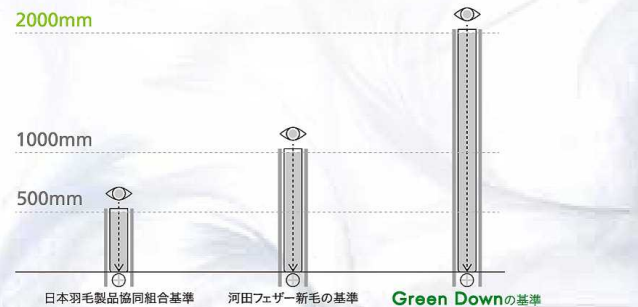


Green Down の透明感

Green Down の綺麗さは社内の清浄度検査でも証明されています。

【羽毛清浄度検査 (JIS L1903) 準拠】

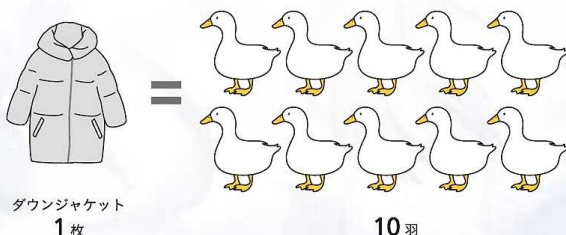
この検査は、羽毛を洗った水の透明度で、その羽毛の綺麗さをみる試験です。



検査条件 精製加工後の羽毛を 300cc の純水に入れ、振とうを行った水を透視度計に入れて計測します。

希少な羽毛

1 枚のダウンジャケットに水鳥何羽分の羽毛が入っているか、ご存知ですか？ 実はダウンジャケットを 1 枚作るのに、ダックで約 10 羽分もの羽毛が必要なのです。



ダウンジャケット 1 枚

10 羽

羽毛のサイクル

羽毛は、もともと食用用に飼育された水鳥から、肉の副産物としてとれる素材です。本来は棄てていた部位を有効活用し製品化しているため、環境に優しいといえます。

さらに、羽毛は、動物の角やくちばしと同じくハードケラチンという非常に丈夫な物質でできています。そのため、適切なメンテナンスを施せば、100 年以上も長持ちする循環資源といえるのです。

なので羽毛はリサイクル活動により再生していくことができます。

使わなくなった羽毛ふとんや着なくなったダウンジャケットなどの回収。

製品回収



洗浄された羽毛を使って新たな羽毛製品が作られる。

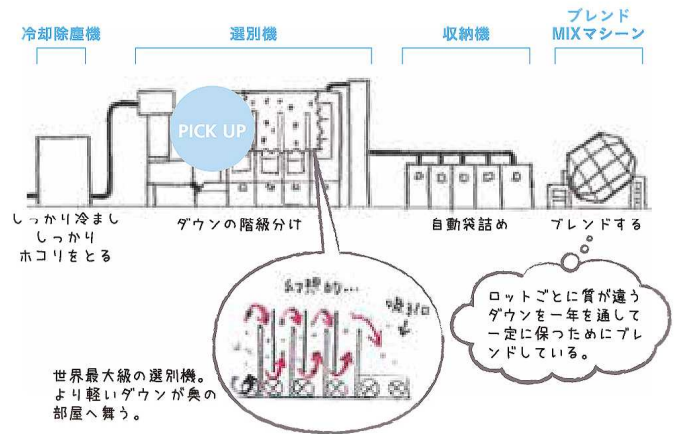
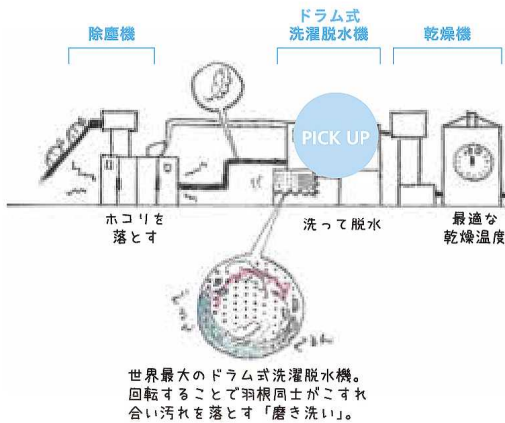
洗浄してきれいな羽毛に生まれ変わる。

分別・解体して羽毛を取り出す。

再生原料

工場ライン

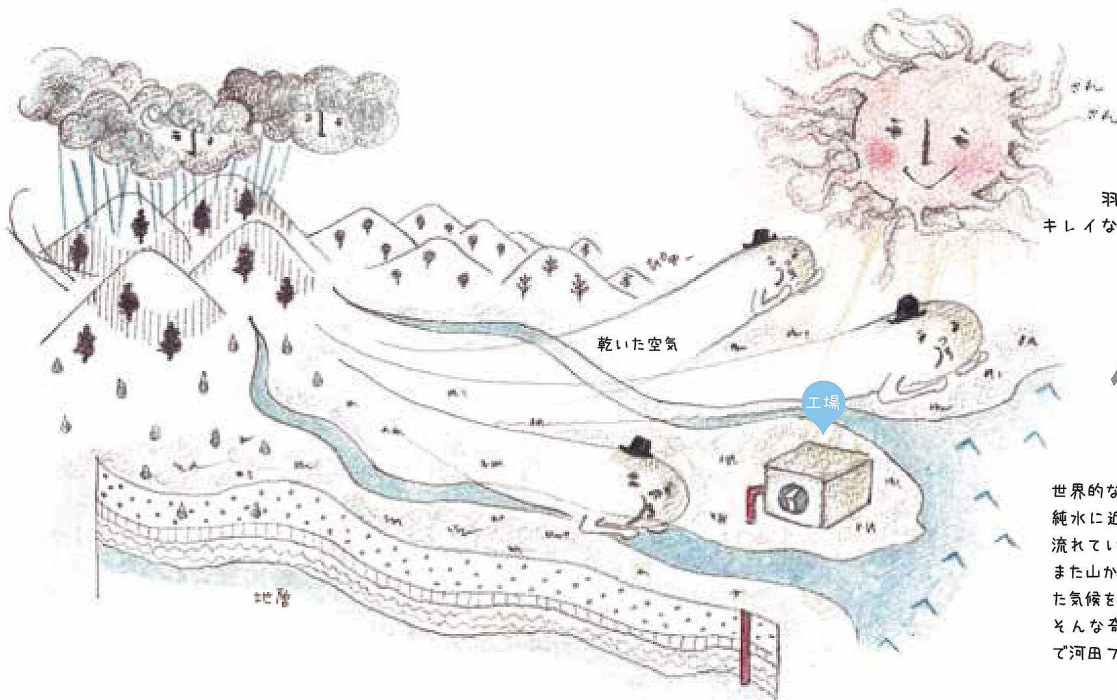
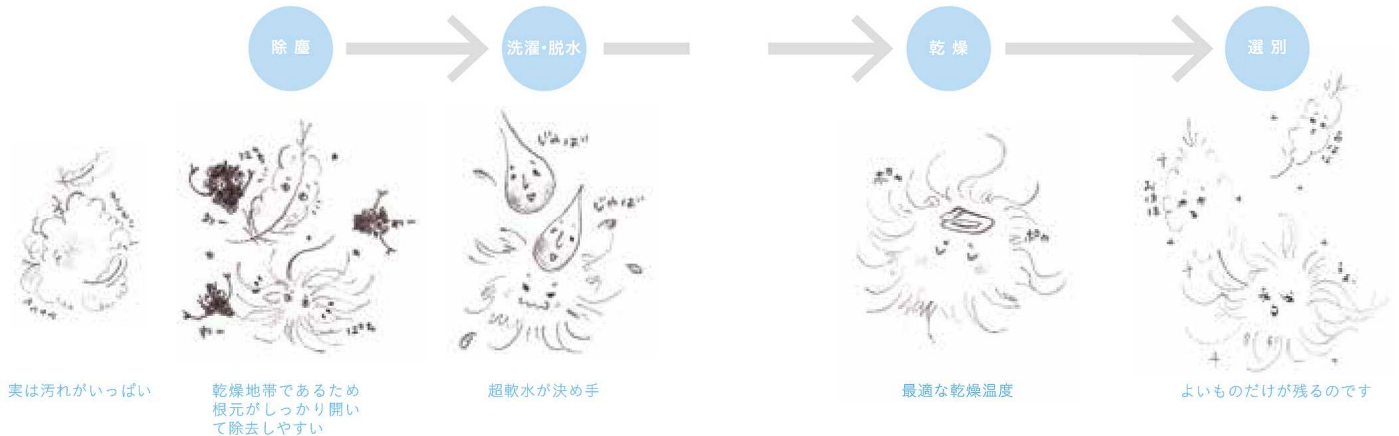
世界各地から仕入れた羽毛を洗浄・選別する製造ラインはたった4名のスタッフで管理しています。世界最大規模かつ最新型羽毛洗浄ラインだからこゝ実現できる管理システムです。もちろん、世界的に見ても高水準で、ホコリ・不純物が少ない、とても衛生的な羽毛を作ることができます。



ミクロの視点で

羽毛の洗浄には、超軟水である大台山系の地下水を使用しています。軟水はカルシウム、マグネシウムなどのミネラルの含有量が少ない水で、4ミクロンという羽毛の細かい小羽枝の中にも水の分子が入り込み、細かなヨゴレをキレイに取り除いてくれるのです。

その超軟水を贅沢につかって磨き洗いされた羽毛を、さらに丁寧に乾燥させることで初めて毛根などが細かく選別ができ、それらをきれいに取り除くことができます。そうやって常に高いクオリティを維持できることが河田フェザーの誇りです。



羽毛の性能を最大限引き出す為には、キレイな軟水と、乾いた気候がとても大切

三重県伊勢平野。

世界的な降水量を誇る大台山地で降った雨は、純水に近い超軟水となって地中深くに大量に流れています。また山から吹き下ろす乾燥した空気が一年中乾いた気候を保ってくれています。そんな奇跡に近い場所、三重県多気郡明和町で河田フェザーの羽毛は作られています。